

なのはな

NPO法人 なのはな
◇あおぞらキンダーガーデン
◇まほろば
◇わとと・あおぞら
〒420-0961 静岡市葵区北226-1
TEL/FAX 054-246-2213
E-Mail : aozora@shizuoka.tnc.ne.jp
npo-mahoroba@uv.tnc.ne.jp
URL : <http://www4.tokai.or.jp/nanohana/>

あけましておめでとうございます。

今年もどうぞ、よろしくお祈りします

1年のうち、1日は12回あるのですが、1月の1日は、年を跨ぐこともあり、すごく特別に感じる日です。今まで色々あっても「まあまあ、そんなもの」と流して「今年こそは！」と切り替えて進む事が出来るのですからすごい日です。毎月毎月だと新鮮味もご利益（ごりやく）もありませんが、1年に一回なら「自分へのご褒美」と思って、2014年の新しい年をスタートしていきましょうね。

*1月18日に劇団仲間「森は生きている」上演

昨年から売り出された入場券は、800枚近くになっています。子ども達の未来に豊かな文化を！の願いが広がっています。中心になっている実行委員会の皆様の大きな力があってこそと、心より感謝申し上げます。

*3月23日に20周年記念パーティー

が計画されています。皆さまどうぞ多くの方がご参加くださいね。

*4月1日 小規模認可保育園「なのはなガーデン」が葵区川越町に開所。

0から2歳まで各6人計18名の定員です。

今までのように『人間として生きる力の土台期にたくさんの大人から愛される事が人間らしく生きる力となります。』そんな思いで保育創造を進めます。

今年も人間らしさを求めて

「教育・保育」あおぞらキンダーガーデン・なのはなガーデン

「子育て支援」わとと・あおぞら/城東子育て支援センター（あんと）

「発達支援」まほろば と、それぞれの所で、「人間らしく生きる力」の実践・研究を深めていきたいと思っています。

スタッフ一同、どうぞよろしくお祈りします（おか9）

大人も子どもも、素敵な1年になりますように！

* * * * *

H25年度「ソニー幼児教育支援プログラム」奨励園受賞(12月)

「モリアオガエルとの出会いで心を動かす子ども達」～不思議がる・調べる・考える

～加藤寛子～

*講評・審査委員 小泉英昭(日立製作所)・秋田喜代美(東京大学)・青木清(上智大学)・神永美津子(国学院大学)

ファンタジーの世界と現実とを往きつ戻りつしながら、子どもたちが、少しづつかえるのを知っていく過程が伝わっていきます。カエルの卵と出会い、興味を持ち、愛着へと心が動き、思いやりに繋がっていく成長の姿が捉えられ、それに応じた環境と保育者の関わりが工夫されている事が評価されました。保護者の方とのノートによる子どもの姿の共有、カエルに詳しい方を招待するなど、子どもたちの体験が深まるよう②連携を工夫していることも伝わってきました……。

あおぞらだより

12月14日、あおぞら20周年記念事業第2弾として、「大きな子育て井戸端会議」が2人の卒園生の先輩ママを招いて講座が開かれました。あおぞら在園・卒園も含め50人を超える子育てママが集まったの大きな井戸端会議となりました。

参加者の声

2人のお母さんかっこいい！自然で大事なものがぶれていないところ大好きな先輩ママです。
改めてあおぞらの横のつながりの大切さを実感しました。

岡ちゃんと2人のお話は素晴らしくストンと心に落ちました。“見えないことを大切に” “心に寄り添って” 本当に素敵でした。

すてきな先輩ママたちも、やっぱり悩んだり怒ったり心配したりしていることに当たり前のことだけどホッとしました。子どもたちの成長をますます楽しみに感じた瞬間でした。

私の不安や心配事は小さなことだった。4月からの入園がとっても楽しみになりました！

あおぞらって・・・

子どものふるまいを優しく見守ってちょっと待ってくれる大人がたくさんいるって事なんだと、講演会から帰ってきて改めて気がつきました。

あおぞらの土台があって、こどもの乗り越えていく力を信頼し、子育てされているお二人の話、とても勇気づけられました。

子育て環境や時代が厳しい世の中でも自分がいいと感じる環境・場所・人を求めてつながることの大切さを思いました。

講演会を終え、20年間のあおぞらの保育、あおぞらで築いてきた人間関係、子育て仲間の事を振り返る機会にもなりました。2人の卒園ママ、参加者の皆様に心からありがとう。

そして今月はいよいよあおぞら20周年記念事業第3弾1月18日の「森は生きている」観劇もみんなで楽しみましょう。
(ゆうこ)

わとと・あおぞら

地域の方ともつながる わととで！

1月7日、わとと・ガーデン(継続型一時保育・2歳児)の子ども達と、冬休み明け最初のいいものみつけのお散歩に出かけました。

「きょうはどこ行こうかあ」「お滑りやりたい!」「神社、赤い実拾いたい」「葉っぱあるかなあ」それぞれが思いを言い合いながら..わいわいと歩いていくと、

「あれ?」「なんだかにおう?」「あれ、あれ..なんだろう~」

鼻をくんくんさせながら行くと、いつもどنگり、しいの実を拾って遊んでいる近くの神社、どんど焼きをし終えた場面に到着したのです。

残り火に手をかざしていると「みんなで分けて食べな。」

「今年おいしいお芋を焼いたんだぞ。」と焼きたてのさつまいもを頂きました。

「やきいもすき~」「でも熱いの、持ってたべられない。」

「もんくいわずに、食べてみな。」いつもは閉まっている、やしろの中を見ながらのおいしい時間。

「おいし~、もっと食べれる~」これで1年間げんきに過ごせるね。

地域の方とのつながりの中、見守られ、育てていただいているこどもたちです。

<かよみ>

城東子育て支援センター あんと

あけましておめでとうございます。あんとも、のんびり・ゆっくりの年明けのスタートです。

クリスマスには、プレゼントがきた子どもたち...大喜び。この日も、3才の女の子が、

「サンタさんがね、えーとね、あのねえ、うんとね、ねんねしたらきてね、うんとね、えーと

おひめさまをくれたの」って一生懸命教えてくれました。「そう、うれしかったねえー、

サンタさん寝ている子のおうちがわかったんだねえー」って答えるのにっこりしてお母さんを

みたよ。隣でくすくす笑いながら、「信じてるんだー、かわいいー」って嬉しそう...と聞いた

矢先、「いつ、サンタさんは親だよって教えてらいいですか??」って聞いてきました。

「そうねえ、おかあさんはどう思う??」って聞くと、「かわいいけど、バカらしいじゃん」と

答えがかえってきました。「クリスマス=高いものを買うではなくていいんだよ、夢の中を

楽しんでいるんだからね、うーん、例えばおいしいケーキやいちごがきて皆でパーティーしてもいいし

ね...」と言うと、にっこり「まじで??ほっとした、だって年末お金かかるし、私のやりくりが超大

変になるだけ!!」とお母さん。「本当だね、わかるよ、子ども達の夢は壊さないようにしてあげたいね、

サンタさんを大人まで信じきる人は、いないよね、だからえっ??と気付くまで夢でいいと思うよ」と話

すと、よかったあーとにっこりのお母さんでした。空想の世界を楽しめる乳幼児・学童期、たっぷりおや

こで楽しめたらいいですね。

...せり...

まほろばの部屋から

お水の大好きなKくんのくり返し同じことをしている様な姿に「お水をこのくらい出すとじょうろにはいるよ」「ここを持つといいよ」の言葉かけにジョロに水を入れるのが上手くなって、水遊びが楽しくなったKくん。丁寧な働きかけが子どもを変えていく事を実感します。

又、保育者だけだとすぐやめてしまう。あきらめてしまうのにお友だちの真似っこで、何度も挑戦?)する姿が見られ、子どもの力はすごいことを教えてもらっています。

土曜日のまほろばの活動は、月2回ですが、前回のあそびが印象深く残っていて「楽しかった」「嬉しかった」「嫌だった」ことも含め居心地のいい場所になっているなーと思いながら活動をしています。
(保育スタッフ ゆうこ)

十二月物語 (12月物語)

劇団仲間公演 1959-2012

森は生きている



サムイル・マルシャーク・・・作
湯浅芳子・・・訳
演出・・・古川 伴睦

詩情あふれる舞台
美しい音楽
世界中の子どもたちの
心をとらえ
おとなの胸をうった
感動の名作!

2000回
公演達成
2019th~

主催：NPO 法人なのはな 〒420-0961 静岡市葵区北226-1 TEL/FAX：054-246-2213
<http://www4.tokai.or.jp/nanohana/>

後援：公益財団法人静岡県文化財団 静岡委託商事(有) 稲森バーキング 静岡県こども劇場おやこ劇場連絡会
静岡市助産師会 静岡新聞・静岡放送 静岡大学教育学部 駿河こどものとも社
中日新聞東海本社 常葉大学短期大学部 プラムフィールド (五十音順)